

## 論 文 目 録

整理番号		氏 名	滋 賀 太 郎
<p>学位論文</p> <p>Macular マウスのコラーゲンに関する研究 日本口腔外科学会誌 第 3 3 巻第 3 号 1 2 0 頁 ~ 1 5 0 頁 平成 年 月発行 著者名：滋賀太郎、小野一郎、茂木二郎、西村三郎</p> <p>参考論文</p> <p>1 小児にみられた眼窩底骨折の 3 実験例 日本口腔外科学会誌 第 2 9 巻第 6 号 1 0 4 頁 ~ 1 2 0 頁 平成 年 月発行 著者名：水野一郎、中村次郎、中島 卓、滋賀太郎</p> <p>2 T L 1 0 2 M による口内炎の治療成績 Placebo との比較 日本歯科評論 第 4 8 8 号 2 5 7 頁 ~ 2 6 0 頁 平成 年 月発行予定 著者名：松田晃一、中村次郎、中島 卓、滋賀太郎</p>			

## 履 歴 書

整理番号		本 籍 地	滋 賀 都・道・府・ <b>県</b>
(ふりがな) 氏 名	滋 賀 太 郎 昭 和 年 月 日生 <b>男</b> ・女		
現 住 所	滋賀県大津市 町 丁目 番 号 マンション 号室		
学 歴	昭和 年 4 月 1 日 滋賀医科大学医学部入学 昭和 年 3 月 日 同上卒業 平成 年 4 月 1 日 滋賀医科大学大学院医学系研究科入学 現在に至る		
研 究 歴	平成 年 4 月 1 日 滋賀医科大学大学院医学系研究科入学 現在に至る		
職 歴	平成 年 月 日 滋賀医科大学医学部附属病院医員（研修医）と して 科に勤務 平成 年 月 日 同上退職 平成 年 月 日 滋賀医科大学医学部附属病院医員として 科 に勤務 平成 年 月 日 同上退職		
免許・資格等	平成 年 月 日 医師免許証下付（第 1 2 3 4 号）		
賞 罰	な し		
以上のとおり相違ありません。			
平成 年 月 日			
滋 賀 太 郎 （この氏名のみ自署すること。）			

## 自己担当部分についての報告書

申請者

### 【着 想】

申請者は滋賀医科大学 講座 教授より、「食道癌の遺伝子異常」という研究課題を受けた。申請者は数多く報告されている癌遺伝子のなかで cyclin D1 に着目し、食道癌における cyclin D1 遺伝子の増幅、cyclin D1 mRNA および蛋白の発現、局在、cyclin D1 蛋白過剰発現の臨床的意義を検討した。

### 【方法論】

滋賀医科大学 講座 教授および 助教授より切除され、臨床病理診断に供された食道癌組織は、滋賀医科大学 講座 教授に診断していただき、臨床病理学的検討のデータとした。遺伝子の増幅 ( サザンプロット法 )、mRNA の発現 ( in situ hybridization 法 ) は 教授の、免疫組織化学染色は滋賀医科大学 講座 助手の指導を受けた。

### 【研究の施行】

すべての研究手技、データの整理は申請者が行った。

### 【論文の作成】

教授より表現方法、考察の助言を受けながら、申請者が論文の執筆、図表の作成を行った。論文は 教授および 助教授の校閲を受けた。

( 記載例 )

【共著者が 名に至った理由】

実験的研究が広範囲かつ専門的であること、材料に手術切除材料を使用していることにより、滋賀医科大学 講座 教授、 助教授、 助手、滋賀医科大学 講座 教授の多大なる指導、助言を頂いたため、共著者が 名に至った次第である。

上記の【共著者が 名に至った理由】の記載については、共著者が本人を含めて4名を超えない場合は不要です。